

四日市市教育委員会から感染症対策を行いながら、学校を再開することが決まりました。河原田小学校は、児童や保護者の皆様の安心・安全を第一に考え、できる限りの感染症対策を引き続き行っていきます。これからも変わらないご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<河原田小学校での感染症対策の取り組み>

- ①健康観察表を使った児童の健康状態の把握
- ②職員の毎朝の検温と健康状態の確認
- ③石けんを使った手洗い、うがい、咳エチケットの指導
- ④消毒液を使用した校内消毒清掃
- ⑤密閉・密集・密接の3つの条件をできる限り避けた環境づくり

<保護者の皆さまにお願いしたいこと>

①健康観察表の記入と提出

4月に引き続き5月も健康観察表を使って、お子さんの健康状態を把握し、体調管理を行います。お忙しいとは思いますが、登校前に検温を行い、項目に沿って健康観察をお願いします。また、発熱や風邪症状がみられたり、体調が優れない場合は無理をさせずご自宅で休養してください。



②マスクの着用

学校では、人の密度を下げることは限界があります。そのため、授業中は原則マスクの着用が求められます。できる限りご家庭でマスクの準備をお願いします。準備ができない場合は、咳やくしゃみを止めるためのハンカチを持たせてください。



③手洗いの徹底

「ハンドソープで10秒から30秒もみ洗い後、流水で15秒すすぐ手洗いをするここと、ウイルスを約1万分の1まで減少させることができる」という文献もあり、感染症対策として手洗いが最も重要だとされています。



(参考文献) 森功次他：感染症学雑誌.80:496-500(2006)

外から帰ってきた後、トイレの後、咳やくしゃみ・鼻をかんだ後、食事の前等のこまめな手洗いをご家庭でも心がけていただきますようお願いいたします。また、ハンカチを忘れたお子さんが、服で拭いたり、手を自然乾燥させる姿を見かけます。手洗い用のハンカチを必ず持たせてください。

④心と体のSOSサインをキャッチ

誰もが不安を感じながら毎日を過ごしていると思います。特に子どもはストレスをうまく表現できず、心や体に変化が現れやすいです。「普段の様子と違う」と感じられた時は、お子さんと話す時間を設け、優しく話しかけて気持ちを受け止めてください。



なかなか寝つけない 怖い夢をみる 食べる量が減った 食べる量が増えた
 疲れている 元気がない イライラが増えた 喧嘩が増えた 甘えたくなる
 心配になる 悲しくなる よく泣く 無口になる 腹痛や頭痛などを訴える
 おねしょをしてしまう 勉強に身が入らない

など

⑤登校後に体調不良が起きた場合

感染拡大を防ぐため、学校での経過観察の時間をできるだけ短くし、お迎えを依頼します。ご理解、ご協力をお願いします。



⑥熱中症対策

5月は体が暑さに慣れておらず、熱中症になりやすい注意が必要な時期です。30℃近くを記録した急に暑くなった日もありました。また、マスクをつけていると、口とマスクの中の湿度が高くなり、のどの渇きを感じにくくなるそうです。

学校でも熱中症対策を行います。ご家庭でも脱ぎ着で体温調節しやすい服装、水筒の準備等の熱中症対策をお願いします。



今後の状況に応じて変更の可能性もあります。出来るかぎりのご協力をお願い致します。



<布製マスク配布のお知らせ>

文部科学省から配布されました布製マスクを一人1枚配布いたしました。学校でも目視にて確認しましたが、万が一不良品がありましたら、学校までお知らせください。今後、2枚目のマスクも配布される予定です。お知りおき下さい。